ヲ例トス

第七條　軍制ノ執行ハ檢察官ノ指揮ニ依ル軍制ヲ執行スベキ者ハ長官之ヲ命ズ

但シ監禁劃ハ相當機關ニ之ヲ委囑スルヲ妨ゲズ

第八條　本規則ニ別段ノ定メナキ事項ハ事情ノ許ス限リ海軍軍法會議法中尋設軍法會議ニ關スル規定ニ準據ス

「註」特設軍法會議ニ關スル規定ノ準據ニ依リ軍律會議ニ於テハ辨護人ヲ附セザルコトトナル

海軍

民政府機密第八号

昭和十九年一月二十五日

海軍司令長官　岡田文秀

南方政務部長
南西方面海軍民政府總監
兼南遣艦隊參謀長　殿

南ボルネオニ於ケル抗日敵性團体事件ニ関スル件報告

標題ノ件別紙ボルネオ民政部長官報告ノ通ニ有之候

（別紙省）

（終）

宛先省略

メレベス、セラム民政部長官
メナド、アンボン州知事

外務省

（日本標準規格B5）

REEL No. A-1209

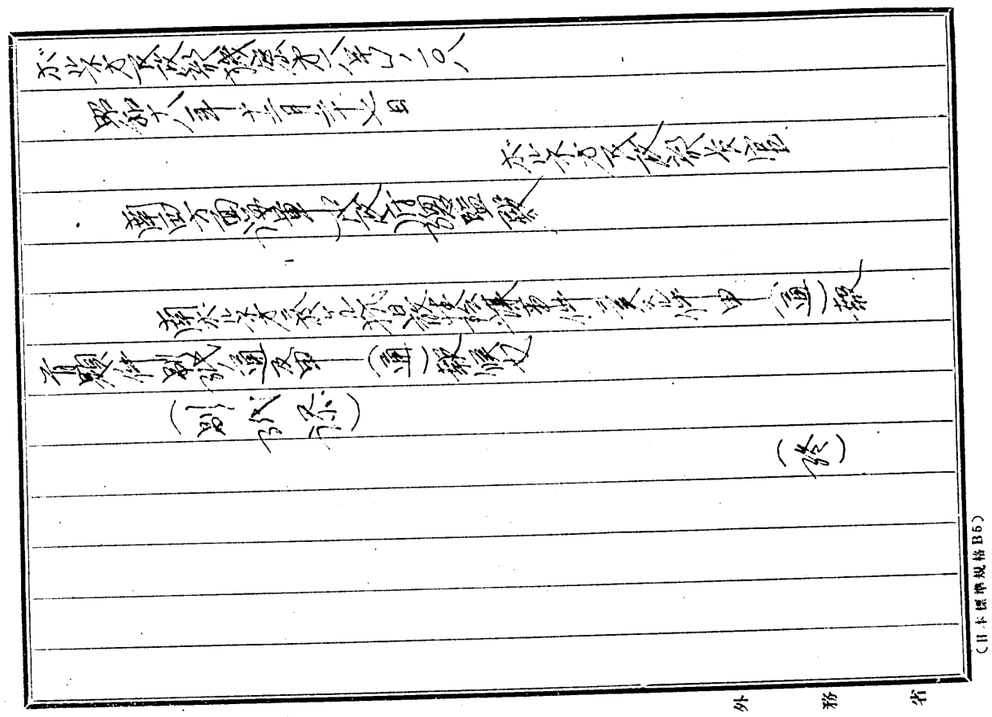
0382

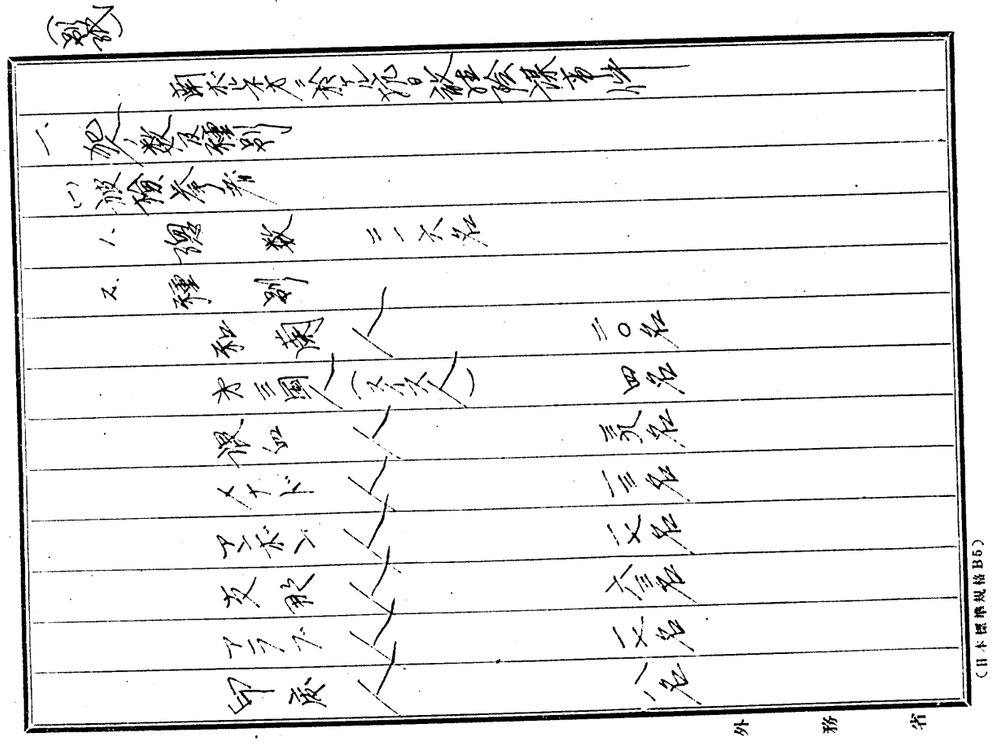
アジア歴史資料センター

アジア歴史資料センター

REEL No. A-1209

00 03



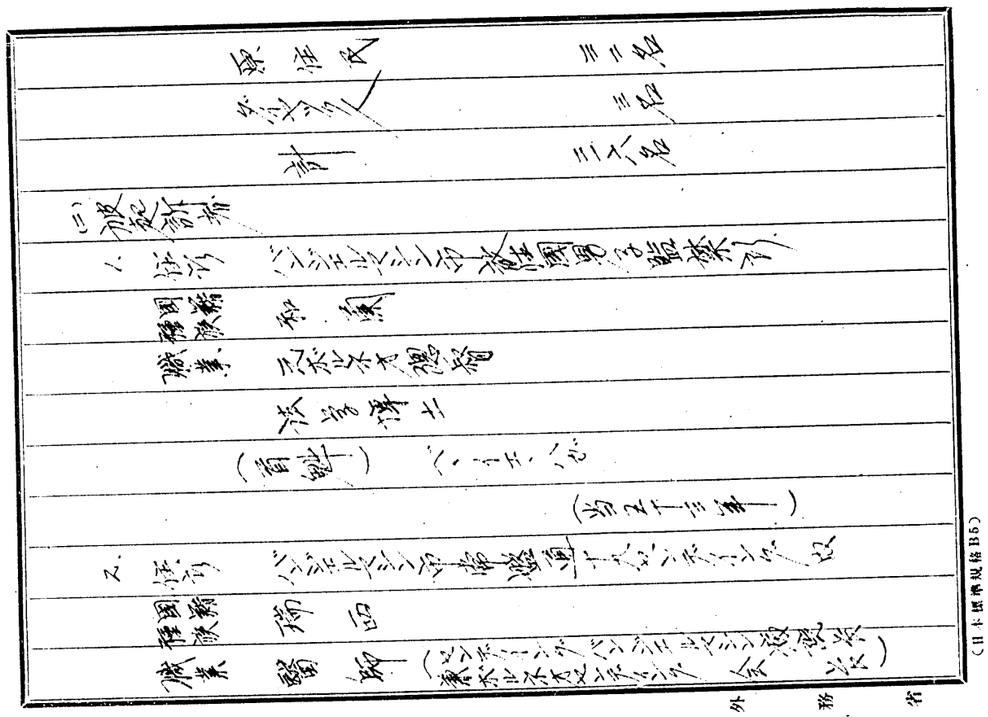


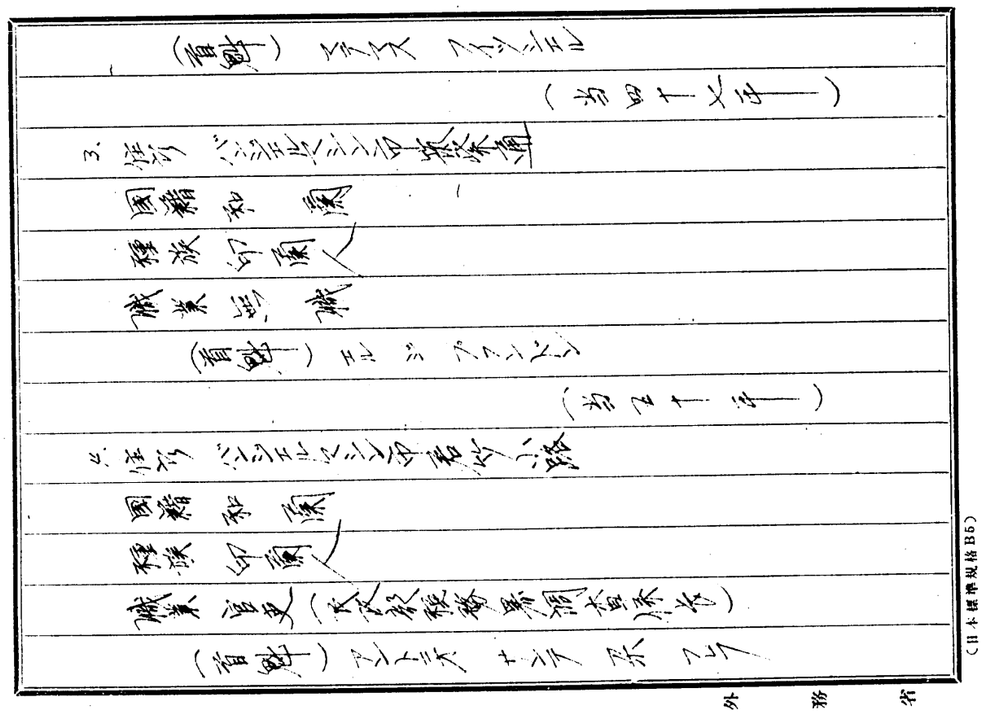
外務省 (日本標準規格B6)

アジア歴史資料センター

REEL No. A-1209

00 00 00





5. 住所 バンジエルベシン中 橋通
国籍 和蘭
種族 ジャワノ
職業 官吏（民政部顧問兼警察官）
（首都） ニシン スミロ
（当五十年）

6. 住所 バンジエルベシン中 刑務所内
国籍 和蘭
種族 和蘭
職業 無職（ゼロ）
（謀議参与） ワルテリヤ ヨハネス ベリヤ ヒーベルト
（当四十年）

7. 住所 バンジエルベシン中 政治犯収容所内
国籍 和蘭
種族 和蘭

職業 元カフヌ人ハリト副理事官
（謀議参与） エイ シー タメリエー ロルドテール
（当四十五年）

8. 住所 同右。
国籍 和蘭
種族 和蘭
職業 元ボルネオ鎮督府秘書課長
（謀議参与） ピーテル ヨベルトス デンハルトホ
（当三十五年）

9. 住所 同右
国籍 和蘭
種族 和蘭
職業 元クタラカフヌ監督官
（謀議参与） ヤコブス デクローエ
（当三十三年）

REEL No. A-1209
0385
アジア歴史資料センター

アジア歴史資料センター

REEL No. A-1209

外務省

（日本標準規格B5）

（一部マイクロ）

（ウ）業務

（一部マイクロ）

（ウ）業務

（一部マイクロ）

（ウ）業務

（一部マイクロ）

（ウ）業務

（一部マイクロ）

（ウ）業務

（一部マイクロ）

（ウ）業務

外務省

（日本標準規格B5）

（一部マイクロ）

（ウ）業務

（一部マイクロ）

（ウ）業務

（一部マイクロ）

（ウ）業務

（一部マイクロ）

（ウ）業務

（一部マイクロ）

（ウ）業務

アジア歴史資料センター

REEL No. A-1209

（一事二日分）

（日本標準規格B5）

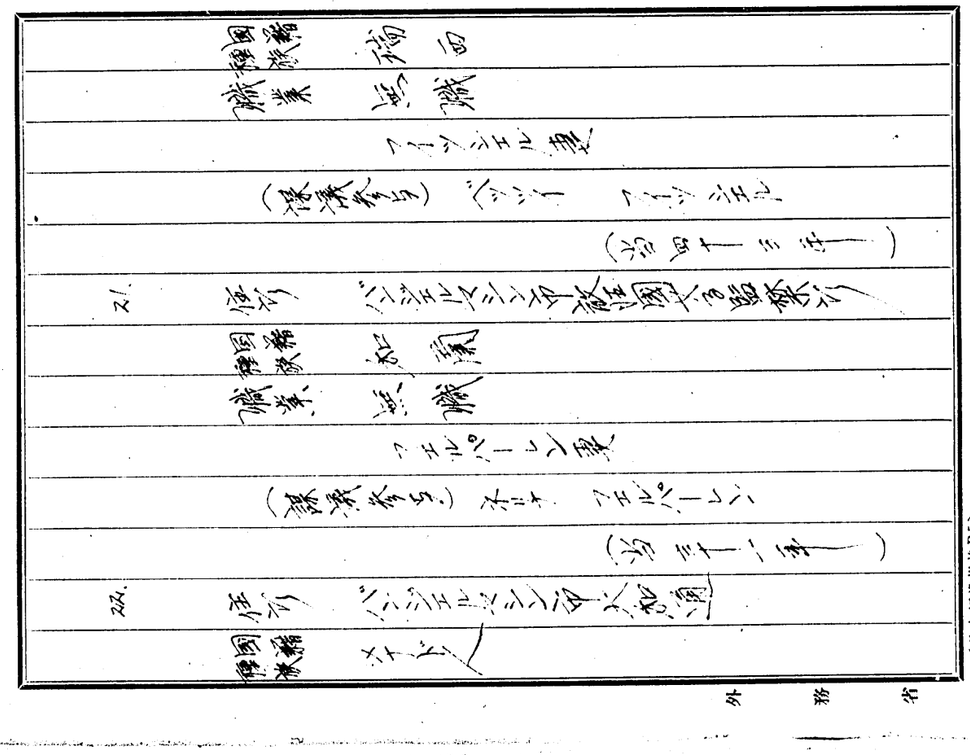
外務省

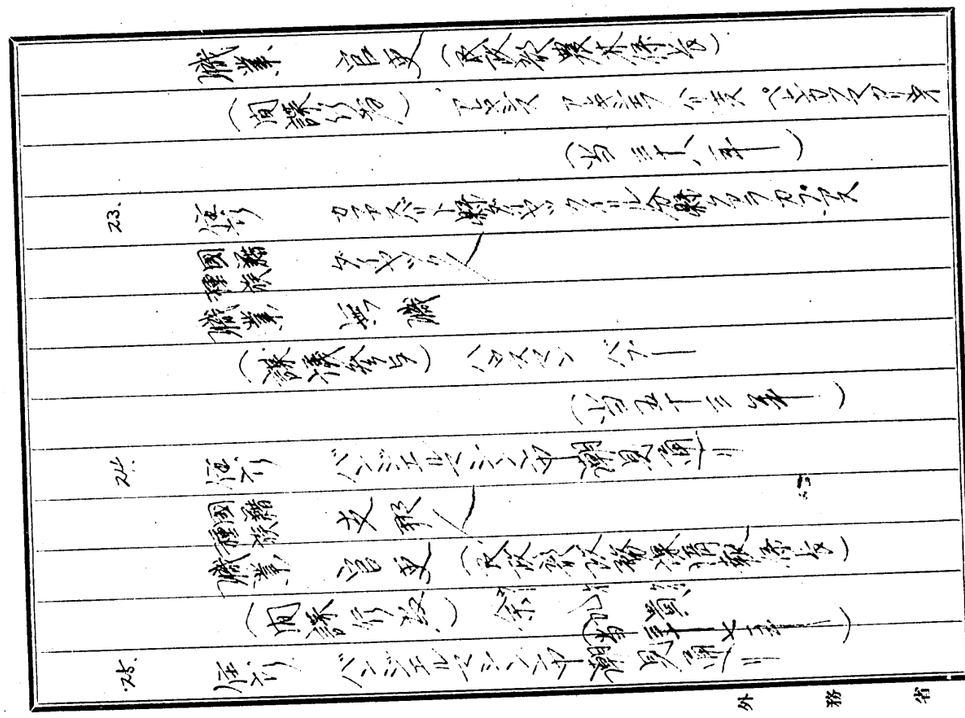
（一事二日分）

（日本標準規格B5）

外務省

アジア歴史資料センター





REEL No. A-1209

アジア歴史資料センター

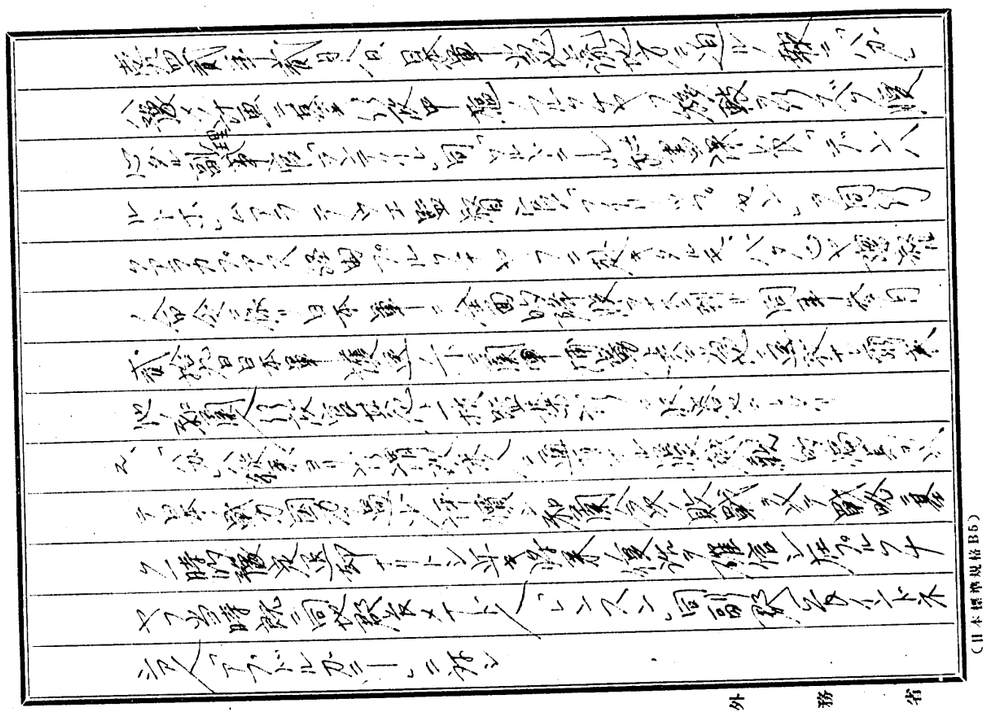
REEL No. A-1209

外務省
（日本標準規格B5）

外務省
（日本標準規格B5）

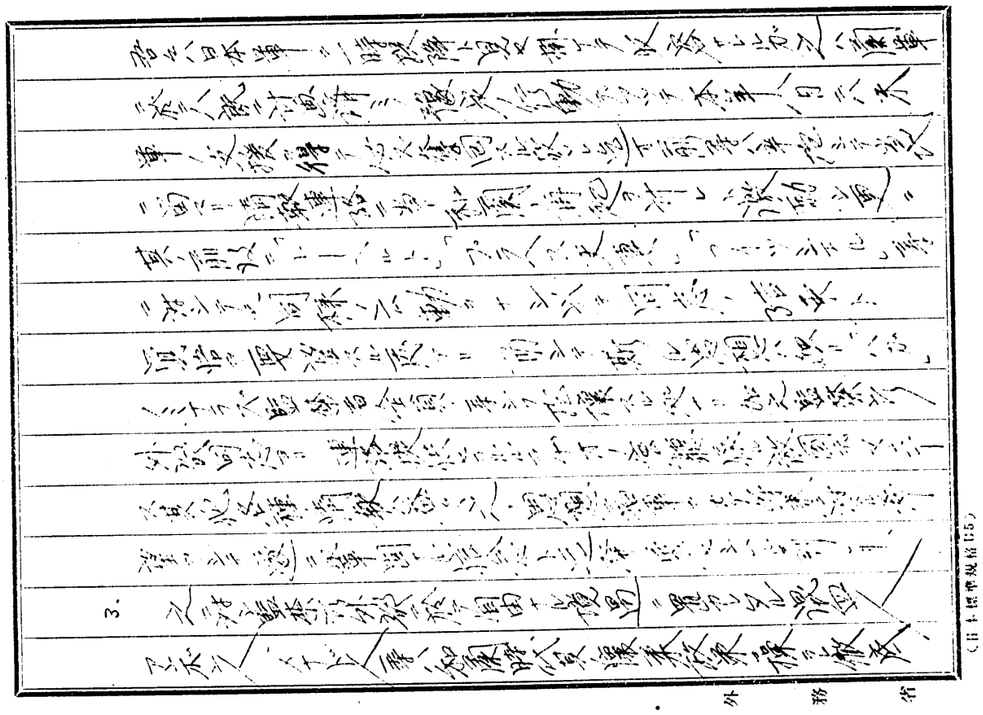
アジア歴史資料センター

REEL No. A-1209



外務省

(日本標準規格B5)



外務省

(日本標準規格B5)

アジア歴史資料センター

REEL No. A-1209

00 00 1

外務省

（日本標準規格B6）

外務省

（日本標準規格B6）

5. 「ハル」ハ「アイツシテル」ヲ撤ルト称シ「アイツシテル」ト称シ

「ハル」ハ強硬ナル態度ヲ以テ

ニ対シ第一期五カ年間ハ補助金ヲ与ヘ

戦事不起ノ為ノ「戦争」ニ対シ

日本ハ論ズルニ際シ

事柄ニ関シ其ノ他ノ

ニ逃避ノ際ハ

軍ノ為ノ軍国ノ

事ノ動機ノ

四万五千円ノ

ニ事実ノ

譲歩ニ応ジ

以ハ政治的東ノ実行ニ

政府ハ

外務省

（日本標準規格B5）

其政府ハ敵国ニ

ナスル補助金ノ減額

益々和戦ノ

6. 戦争ニ

ノ

ノ彼等ハ其ノ

ルヲ

政ニ日本軍

資源

7. 之ノ

側ハ

ニ於テハ

ニ

外務省

（日本標準規格B5）

REEL No. A-1209

0392

アジア歴史資料センター

アジア歴史資料センター

REEL No. A-1209

00 00 00

外務省

（日本標準規格B5）

外務省

（日本標準規格B5）

アジア歴史資料センター

REEL No. A-1209

外務省

（日本標準規格B5）

外務省

（日本標準規格B5）

アジア歴史資料センター

REEL No. A-1209

（日本標準規格B5）

（日本標準規格B5）

アジア歴史資料センター

REEL No. A-1209

00 00 00 00

外務省

（日本標準規格B5）

外務省

（日本標準規格B5）

アジア歴史資料センター

REEL No. A-1209

（日本標準規格B6）

（日本標準規格B6）

アジア歴史資料センター

REEL No. A-1209

外務省

（日本標準規格B6）

外務省

（日本標準規格B6）

米國軍進駐ノ暗礁ハ敵國ニ於テ大ニ喜ビ各本日拾
貳月拾五日、五日ノ延引セシガ故ニ直ニ行動計畫
ニハ其ノ影響ヲ及ボスヘキ時期ニ来ル前ハ其ノ場合
実ハ行ヲ移スヘキ配ニアラレタルモノニ
而シテ本計畫内容ハ機密ニ編成シ各国ノ諜報
陽政ニ対スル関係ニ於テ解ヲ来タサル様ノ者ニ対シ
国ノ発展ニ主義ヲ保リ一本ニ軍ニ関係国ノ食糧ノ
ニ於テ一度軍ノ発ノ報ヲ以テ蜂起ヲ得ル様ニ市場ニシ
リタルモノ

蜂起用武器ニ関シテハ支那人間貳〇〇隻ノ小銃、拳銃、陽
通シ得ル外タアラカタ人、タリヤ、護身用ノ人ヘマシテ「ピ」ト日本
軍進駐当時ノ混乱ニ乗シ日本政府ノ指令ニ
タリト信リ民衆ニ銃ヲ渡ヒセシムル様布告シ其ノ降伏

同志「オーストリヤン」計畫ニ関シテハ「ルル」間ノ人ハ
ガ民族系未課故郷タル「ルル」式徴ヲ利用シ官用「ダイナマイト」
貳箱電管貳百箱火薬課志人自来ノ弱点陸盗ヲ要キタリ
蜂起資金、蜂起ト同時ニ使用スル金額トシテハ「アッシエル」カ
「ハカ」ヨリ供与ヲ受ケタル金額中残金弱貳万貳ノ外「セン
ディング」教国人金庫ト同志故援會積立金ヨリ融通
スルコトトシ其ノ他ハ「アッシエル」「サンテ」「プロラ」等ガ資ヲ直接
又ハ間接ヲ通ジテ為ス支援ニ依ル「ルー」「セン」「ヒ」（シンガポ
ール）及日戦闘ノ長期タリシ「ダンロッパー」之婚逃ノ
福東商會支配人ノ「ロラ」人中ノ高慶「タリヤ」「バーン」付
長「シンナール」等ニ重要ノ役目ヲ解消ナルヲ以テ其ノ面ヨリ
心要金額・獲得ヲ大ハ「ク」計画シ「ナリ」
タラカプラ久別働隊編成
容軍拾日「ブラス」ハ「アッシエル」ノ命ニ依リ当地行動

REEL No. A-1209
0399
アジア歴史資料センター

アジア歴史資料センター

REEL No. A-1209

00 00

外務省

（日本標準規格B6）

外務省

（日本標準規格B6）

アジア歴史資料センター

REEL No. A-1209

外務省

（日本標準規格B6）

外務省

（日本標準規格B6）

上西司ニ対シ糧食ノ準備ニ関シタル本軍ノ要求ヲ念標ハ
遂次貴信ス
終ニ共古班長ノ識ハ貴ノ意見ヲ本軍ニ要求シ来ル感謝
七月廿七日

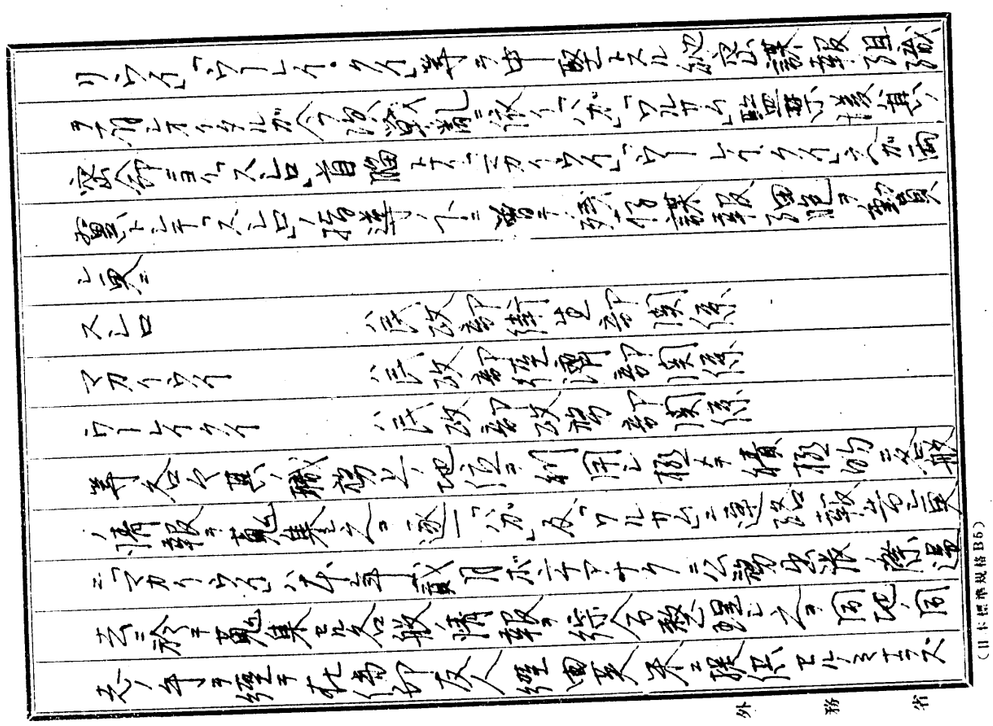
ナリ
ス
ス
ス

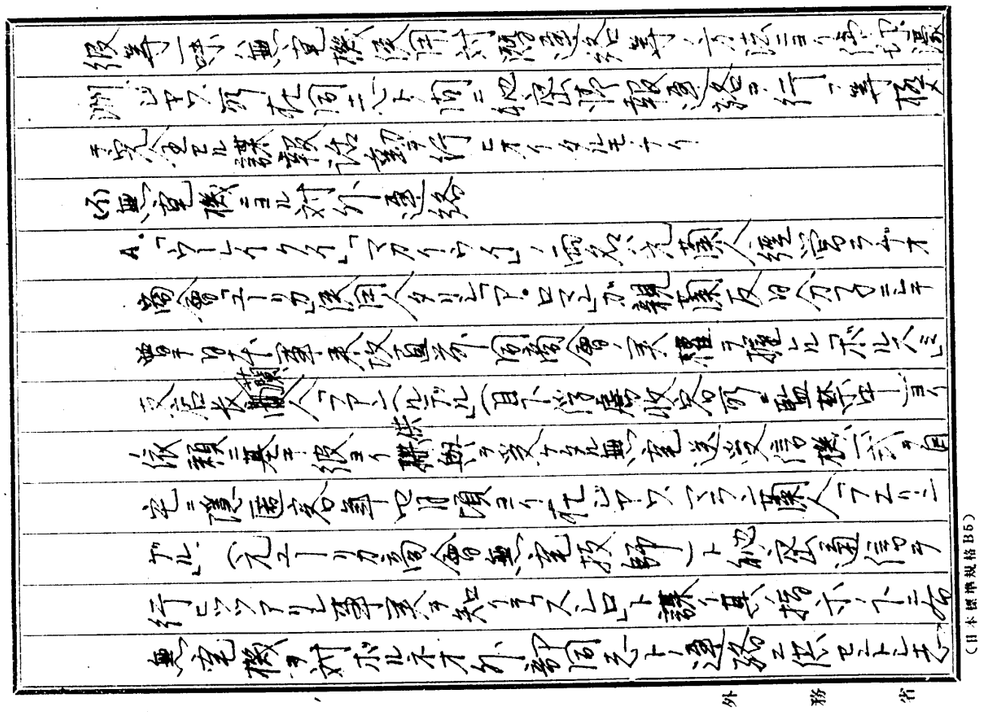
位環境ヲ利用シ各般ノ情報蒐集連絡相互啓蒙ヲ
行ハル他貳隻匿無電機ノ使用敵潜水艦ト連絡同
志派遣ス人帆船利用等ノ方法ニヨリ本邦ニ島外同志ト
間ニ情報交換連絡ヲ図リ
而シテ之カ活動ノ為検討及便宜等行ハル諜報活動次ノ
三箇ノ線
1、「ハガ」カ戦前有シタル秘密諜報網ノ残存活躍
2、「フイリピン」掌握セラレテイタル敵潜諜報組織活躍
3、各同志ノ個人的活躍
二依ル活動ト見ルヲ妥当ト
即チ
1、「ハガ」ハ戦前「ワルサム」(元高地ニテ一時長官官房主任、
現俘虜収容所ニ監禁中)及ビ又ハ「ヨ」ノ首脳ト共ニ力

セル医療機関ニテ日本軍進駐ト同時ニ其ノ医療資材ヲ
我軍ニ引渡サルカキニテ不拘「フイリピン」ハ本来三国人タルノ為メ分
ヲ利用シ又占ト謀リ他ノ期ニ其ノ組織ノ秘匿資材ヲ隠匿シ
置キタルモノニシテ近ク米軍ノ来攻ニ備ヘ武装蜂起隊有力
ナル一翼トシテ其ノ復活ヲ急ギ本年一月二完成セルモノナリ
尚クアラカフアス別働隊ヲ之ニ激ヒ組織セラレタモノ組織左記
諸點ニ於テ本ナルモノ異リ全ク敵陣ヲ持ツモノ故ニ之ニ要ス
(イ) 和蘭陣営ハ反日親蘭的分子ヨリ次テ組織セルコト
(ロ) 医療ハ抗日路線者ノミニ限ルコト
(ハ) BMO隠匿資材ヲ米ノ使用セントシタルコト
(二) 武装蜂起部隊強力ナル一翼タルノミナラス其ノ有ハ
(三) 諜報活動
本事件関係被疑者ハ全員何レモ積極的ニ凡ユル機会迄

REEL No. A-1209
0403
アジア歴史資料センター

アジア歴史資料センター





REEL No. A-1209

ヲ同ジクスル「アロマニ」積極的技術協力ヲ得テ客年拾月頃
ヨリ本年ノ三月初旬迄ノ間拾數回ニ亘リ之ヲ利用シ
5、更ニ「ウーレイクイ」ハ過般戦争直前時ヨリ自身持
来ニ於ケル其ノ利用ノ豫想ニ基キ記「コーリウ商會」ヨリ自身持
出シ自宅ニ隠匿セル無電機ニ関シ「スミス」「マカリウム」「パンケー」
ト連絡ノ上同志「マシエ」ポウ」(メキド人民政部部使命者)ニ強
要シ同家大井裏ニ設置シタ「パンケー」ノ技術援助ヲ得テ
客年拾月頃ヨリ本年貳月中旬迄ノ間數回ニ亘
リ本無電機ヲ利用シ
以テ「ウーレイクイ」ハ佛印、西貢居住英國人「アーネスト・アン
ダーソン」豪州メルボルンズプライベイルド居住マニラ・ソーン会
社支配人英國人「トーマス・エアトケン」ト共ニ英語「モールス」使
用シマカリウム」ハ佛印、西貢居住佛印人農林技師「ニュー三ン

デスク」ト共ニ佛語「モールス」ヲ以テ敵第、既ニ取決メシアリタル
呼出記號、波長、略號等ヲ使用シ各般ノ情報ヲ交換セル
他「ウーレイクイ」「マカリウム」ノ両名ハ過来語ヲ以テ「ア・ヒミ」
ト共ニ在シ「ヤウ・マシエ」「フエイ・ミヤル」及ビ「ロー」(アンポ文元パ
ミシエルマシエ陸軍事務院希濃人)ト共ニモ同様情報交
換連絡ヲ行ヒタルモノナリ而シテ彼等ノ連絡セル諸報ノ主
ルモノハ軍事情報
1、当地駐屯備隊ノ狀況(兵員數、兵器、弾薬ノ詳細)
2、重要施設建築物狀況
3、敵第、上陸地点ノ指示
4、落下傘部隊降下地点ノ指示
5、船舶動静、港湾、河川ノ狀況
6、バリックパパン駐屯備施設ノ詳細

REEL No. A-1209
0405
アジア歴史資料センター

7. 行動隊ノ計畫

一般情報

1. 民政部ノ組織及統治ノ方針

2. 一般民心ノ動向

3. 日本人ノ數、体力、生活、保健衛生狀況

經濟情報

1. 資源開発現狀

2. 輸送計畫

3. 食糧対策

等極メテ廣範圍ニ亘リオリ

本年壹月參日山下海軍少將ノ島附近海面ニ於ケル、

金山丸ノ敵潛ニ撃沈事件ニ關シ無電連絡ノ機性トナル

モノニシテ彼等一味ノ無電諜報活動ノ積極的ニテ徹底セル

（日本標準規格B5）

ハ本件ヲ以テレテモ極メテ明白ナリ

(ロ) 対潛水艦ト連絡

「スシロ」「ウーレイクイ」「マカリウイ」ハ豫テ敵潛ト直接連絡

ヲ策シ居ル處本年貳月頃敵潛基地バリト河口現ハ

ルトノ情報ニ好機到レリトナシ「ウーレイクイ」ハスシロノ命ニ依リ

自己腹心ノ文部人「ポアポケヨ」ヲ買收シ之ニ英文ニテ認メタル

対敵潛連絡文書ヲ託シ合ハセテ貳月上旬及同中

旬貳回ニ亘リ小帆船ニ乘船セシメバリト河口海面ニ於テ敵

潛ト直接連絡ニ當ラシメタリ

「ポアポケヨ」ハ初回ハバリト河口約貳浬ノ海面ニ於テ「ウー

レイクイ」ヨリ指示ニ從ヒ詐セタル竹筒製ノ通信筒貳個ヲ

潛水艦拾得ノ豫想ノ下ニ海中ニ投ジ第貳回目ハタシヒヨス

スラヨ二中數浬ノ海面ヲ漂泊スルコト式貳書夜〇貳〇〇時頃

（日本標準規格B5）

REEL No. A-1209

0406

アジア歴史資料センター

「ウー」イクイ」ガ在仏印同志ト間ニ潜通連絡ノ方法トシテ取決メタル懐中電気ニヨル点滅信號ヲ繼續潜水艦浮上シ小型無音動力舟艇ニ乗組兵ト覺シキ者人ヒとり葉祖ミ赤、青、白ノ三色発光信號ヲ以テ連絡ニ接近シ斯カテ「ホアホクチヨン」ハ「ウー」イクイ」ヨリ託サレタル厚ボール紙ニテ外装セル連絡文ヲ彼等ニ手交スル事ニ成功セリ

而シテ右両回ニ亘ル通絡文書中ニハ

当地軍事政治関係情報ガ極メテ明白ニ記載セラレアリタルモノナリ

上記無電並ニ潜通絡ニ関シテハ「スミロ」直接首脳トシテ「ウー」イクイ」「マカリウイ」ニ命ズルト共ニ所要費ヲ右両者並ニ「ヨ通」シテ「マ・ロミン」「ホアホクチヨン」ニ與ヘ通絡ノ結果ハ遂ニ「ワルサワ大討」ヲ通ジ「ハガ」ノ許ニ報告セラレアリタルモノ

ナリ

2、「ライツシエル」ハ在大ナル「セニデイング敎團」ノ細胞組織ヲ有シ各般ニ亘ル詳細ナル情報ヲ蒐集シ之ヲ「ハガ」ニ報告スルト共ニ敵国ニ亘リ在スラバヤ陽西領事ニ対シ報告セリ

彼蒐集シ且提供セル情報ノ主ナルモノハ

各地方ノ物資需給時機狀況

鑛産物資源狀況

農作物生産狀況

軍需獸馬駆除ニ対スル銃器彈藥ノ配備狀況

民政部施策ニ対スル民衆ノ動向及監察者全部數、氏名、年齢、種族、地位、生活狀況、保健狀況

日本軍ノ處置等ナリ

REEL No. A-1209

0407

アジア歴史資料センター

3、「ハガ」「ラシテイイデ」「デンベルトホ」等監督ガ内部首脳者ハ外部ヨリ提出セル上述情報ニ整理統合シテ書信ニテ同志ノ渡哈部度ヲ託送シ哈ニ於ケル諜報網ノ重要女人物ト認メラレル社スラバヤ婦人牧師セシメテル」（元当地カソリック教会牧師及婦人デデリニデ）（女）（元当地セニデイイデ教会附属学校教師）トノ間ニ情報ノ連絡ヲ行ヒタイ

而シテ同志ノ山ヤワトノ連絡文書ハ復旧後ニ「ヒーハル」ト「又ハプラニドー」ヲ経渡哈同志ニ依頼シ彼等同志ノ山ヤワニ復セル者客年「ハガ」ニ行監禁以来本年迄間

客年八月　バテナヤ

客年拾貳月　バニケイ

本年壹月　スビロ

（日本標準規格B5）

本年参月　レンテン

二及ビ其ノ前度彼地同志ト同ニ情報連絡交換アリタルモノナリ

(ロ) 造言蜚語

外部関係被疑者全員ハ直接又ハ同志ヲ使嗾シテ各種ノ造言蜚語ヲナシ以テ人心惑乱狂奔ノ混乱ヲ誘発シ以テ政府ニ対スル人心離間策ヲ行ヒタルガ

即チ

(1) 「アイツビエル夫妻」「ブラ（ス夫妻」ハ客年拾月頃謀議ノ上以テ政府ヨリ、ダイヤク人ノ人心ヲ離間セシメル策トシテ機会アル毎ニ造言蜚語ヲナス決定シ其ノ後ニヨリ実行シタル特ニ右両夫妻ハ本年貳月当地セニデイイデ教会ニ於テ開催ニ至ル回教圏各地連信機関代表会議ニ出席セルタミナニ対シ「信

（日本標準規格B5）

REEL No. A-1209

0408

アジア歴史資料センター

代表「ラニロニ」他拾數名ノダイヤ人ニ対シ

1、ダイヤ教會經營困難ヲ民政部ノ補助金不拂ニ基ク

城工事ニ関シ民政部ニ於テ既ニ支給済

2、戰局ヲ悲観曲理造言ヲ日本敗退和蘭復活ヲ暗示シ

以テ彼等ノ日本政府ニ対スル信頼念ニ動揺ヲ與ヘシア

(2) 「プラムスス書」ハ本年四月頃自宅ニ於テダイヤ人教

師ニ示シ

1、日米戰力、國力ノ差曲ム比較(日本ノ敗退ヲ暗示ス)

2、日本統治政策ノ無定見

物資不足、物價高騰ヲ極言ス

3、近海米潜水艦出没

等ヲ羅列同人ノ心境ヲ動揺セシメタリ

(3) 「スエロ」ハ客年六月東部ボルネオ方面ニ出張除各所

外務省

(日本標準規格B5)

出張先

花蓮港

1、戰局ヲ悲観ニ対シ

戰局ヲ悲観曲説ス

2、日本ノ施政ヲ誹謗

以テ彼等ノ心境ヲ動揺セシメタリ

(4) 「ロンテプレラ」「プランドン」「ミカイウイ」「ウーレイ」

「ダイ」ハ客年九月頃ヨリ反日人落伍ニ至ル曲

エル戰局ヲ日本統治、敗退等ニ宣傳セル他

同志又ハ合ロ同様造言飛語ヲ行ヒタリ

人心惑乱、動揺ヲ與ヘシ

特ニ「プニンドン」ハ反動人(原住民族)十三、二名

主謀者

戰爭ノ近キヲ以テ米蘭軍ニ當從ヲ口實トル

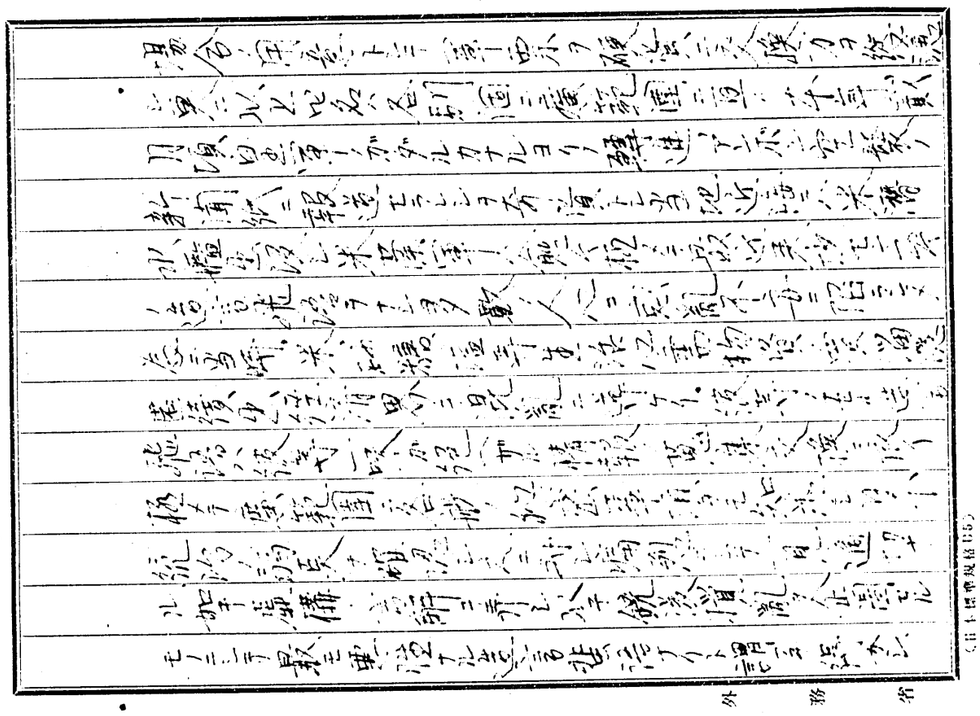
外務省

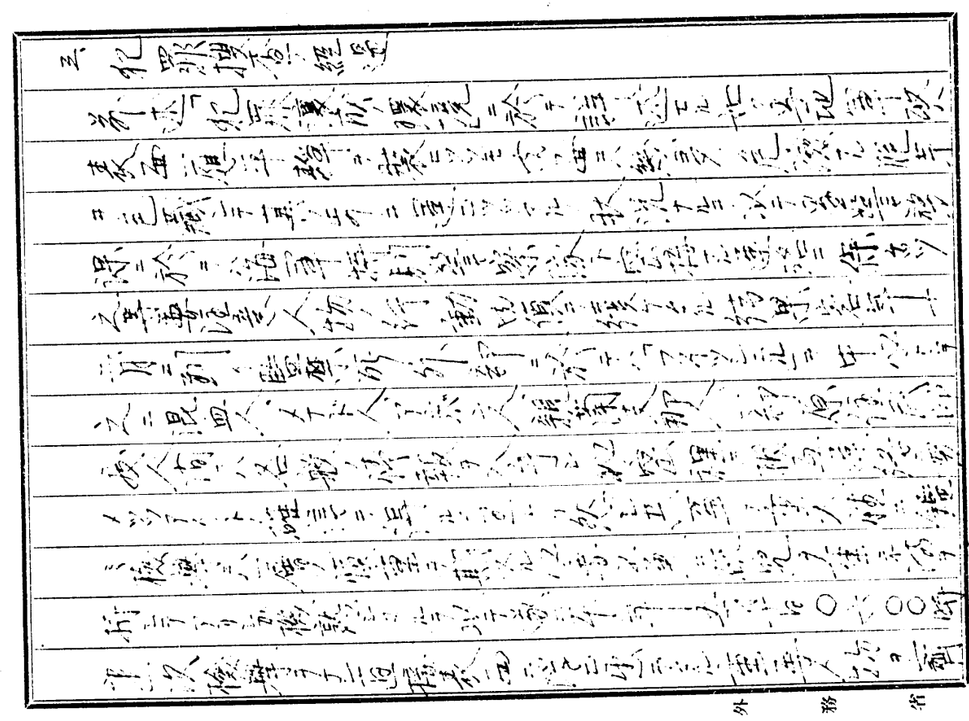
(日本標準規格B5)

REEL No. A-1209

0409

アジア歴史資料センター





アジア歴史資料センター
REEL No. A-1209

二逮捕スルト共ニ厳密ニ家宅捜索ヲ行ヒ証拠物件ヲ押収シ直ニ取調ヲ進行シ被告人ハ爲メ横浜ニ送致シ且ツ十三名ノ共犯ヨリ一次検察ヲ二十日ノ後陰謀首領タルヒイソヒル等ヲ三名ノ共犯ヨリ陰謀ニ関スル資金連絡ニ関シ検察ヲ行ヒ陰謀ニ関スル資金細民部人等ヲ取扱ヒ物財ノ出納ニ関シ検察ヲ行ヒ其ノ九月二十六日ヨリ十四日迄横浜ニ於テ「八」總督ヲ「ハ」「ハ」「ハ」

時半被告全員（「ハガ」他二千五百名）銃殺ニ處セラレタリ

六、本事件民衆ニ與ヘタル反響

本事件ニ接シテ約半歳ニ亘リ此ノ間四次ニ亘ル大検挙ニヨリ住民ノ大部分ハ脆氣ナガラ事件ノ性質ヲ把握シテイタルガ被検挙者ノ多カ從来原住民ヨリ優位ノ地位ヲ占メ彼等ヲ蔑視シ来リタル和蘭人、ヤシ、支那人、混血人、アボン人、メナド人、一部支那人、アラブ人等ニシテ極メテ少數ノ特種人物ヲ除キ原住民層ニ関係者ノ殆ド存在セザリシ為事件当初ハ民心ニヨメル動揺ヲ認メラレタルモ其ノ後漸次平静ニ帰スルニ到リ然レドモ本事件ガ當地民衆最大関心事タリシ事ハ被告人處刑ノ翌十二日ヨリ本紙上ニ事件眞相ノ発表アルヲ當日ノ新聞紙（馬来語版）賣出シ

（日本標準規格B5）

開始後僅々三十分ニシテ其ノ全部ヲ賣盡セシニ徴スルモ明カナリ

而シテ一度眞相ヲ知リ民衆ハ其ノ内容危険複雑重大ナルニ驚愕スルト共ニ日本軍ノ公正ニシテ断乎タル態度ニ今更ナガラ畏敬ヲ空ウスル者無キニシテ邪悪ナル事件ト本質ヲ離レタル全ク私的感情発露ニシテ一般的ニハ戦時占領地下ニ於ケル此ノ種犯罪ニ対シテハ死ヲ以テ處断セラルルハ当然ナリト看做ス向キヲ但シ混血人メナド人、アボン人、支那人等事件関係ノ家族ハ日本軍ノ態度ニ相当ノ恐怖ヲ感ジ口ヲ緘シテ敢テ事件ニ觸ルル者ナク何モ悲歎ノ極ニアルモノ如シ、コノ点今後ノ政治工作ト相俟ツテ相当注意ヲ要スルモノト思料セラルルモ現在殆ド大多數ノ原住民ニ

（日本標準規格B5）

REEL No. A-1209

0412

アジア歴史資料センター